

ともだ
共田たけふみ

長野県議会議員

2019.9
Vol.04

Change is
an opportunity

県議会レポート Prefectural Assembly Report

■発行責任者／長野県議会議員 自由民主党県議団 共田たけふみ 長野県岡谷市長地権現町3丁目3-3 <http://www.tomodafm.com>



令和元年6月議会 一般質問

農業と観光について

【共田質問1】長野県の持つ自然や歴史などの観光資源と県の進めている信州サーモンや信州プレミアム牛肉などの「おいしい信州フード」がつながり、認知されれば、更に観光振興の可能性が広がるが、観光面で「おいしい信州フード」の活用をどのように考えているか。

【回答】「長野県観光戦略」では、食文化や特産品に着目した魅力ある食を提供できる観光地域づくりなどに取り組むこととしております。今年度は、食文化と温泉を組み合わせて紹介したり、「健康・長寿 長野県」を育んできた要素を加味した料理を、その提供方法にも工夫を加えて発信していくこととしております。また、ワインなど多彩で特徴のある県産品については、実際にお越しいただいて、味わっていただくことが重要であることから、これらを観光誘客に結び付けていけるよう農政部、営業局とも連携して取り組んでまいります。

【共田質問2】県内の良質な食材を、飲食店やホテル・旅館の経営者の皆さんに認知していただく取組をさらに進めることが必要と考えるが、現在及び今後の展開については。

【回答】今年度は、観光地のレストランやホテルなどの登録店に協力いただき、「おいしい信州フードフェア」を県内10地域で開催し、佐久鯉や伝統野菜等、それぞれの地域食材をテーマとした料理を一定期間提供するなど、地域食材の魅力を実感していただく取組を進めてまいります。

【共田質問3】必要な県内食材を手に入れる流通システムの構築を、県が率先して進めることについて所見をお伺いしたい。

【回答】飲食店やホテル等が、県産食材を入手するための地域流通の拠点としては、地元の特産な農産物を扱う直売所の役割が重要と考えております。今年度は、地域の農産物直売所を核として、飲食店やホテル・旅館等が求める食材を供給する物流システムの構築に、地域の流通実態に通じた事業者に参加いただきながら取り組んでまいります。また、直売所間で野菜や果物を相互に供給し合う仕組みの研究などにも取り組んでまいります。

【共田質問4】飲食店などの事業者が求める、魅力ある作物の安定供給及び生産拡大への支援が大事なことを考えるが、県の所見は。

【回答】県では、農業改良普及センターが「中山間地域農産物橋渡し支援事業」により、飲食店や旅館・ホテル等の事業者と、伝統野菜など特徴ある農産物を生産する農業者や産地との橋渡しを進めているところであります。この事業は、飲食店などが求める食材の情報を普及センターが把握し、供給が可能な農業者や産地を掘り起し、必要な場合は栽培技術指導を行い、安定供給につなげているものです。

令和元年6月議会 一般質問

森林の利活用と課題について

【共田質問1】将来に向けて、森林の大切さなどについて森林所有者や住民の理解を十分に得た上で、森林を持続的、安定的に維持管理、あるいは有効に活用していくために、どのような取組を行っているのか。

【回答】好調な合板需要等により木材価格がやや上昇するなど、森林経営にとって好機となっている情勢を活かして、より収益性の高い林業の構築を目指し、革新的な技術を活用したスマート林業の普及定着や、県産材の販路開拓及び製品開発による生産の拡大等に取り組んでまいります。